



# 性能試験報告書



試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
平成22年1月20日

株式会社 カナイ  
埼玉県八潮市西袋717番1号

|      |   |
|------|---|
| 試験名称 | 枠組壁工法接合部の引張試験   |
| 試験体  | <p>1 接合金物<br/>製品名 : 棟部用帯金物<br/>用途 : 上下たて枠の緊結<br/>形状・寸法 : 図-2参照<br/>材質 : NSDC570 K18 シリコン合金めっき鋼板「スハ°-ﾀﾞｲマ」<br/>(溶融亜鉛-11% アルミニウム-3% マグネシウム-0.2%)</p> <p>2 接合具<br/>製品名 : 太めくぎ ZN-40<br/>材質 : SWM-N(JIS G 3532)に規定するくぎ用鉄線<br/>C(0.22%以下), Si(0.60%以下), Mn(1.60%以下),<br/>P(0.050%以下), S(0.050%以下), N(0.012%以下), Ceq(0.50%以下)<br/>表面処理 : 溶融亜鉛めっき</p> <p>3 使用木材<br/>構造材 : 枠組壁工法構造用製材、JAS甲種2級、樹種；S-P-F<br/>寸法；38×89mm〔寸法型式204〕</p> <p>4 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体）<br/>: 試験体の形状・寸法は図-1～図-2参照</p> |
| 準拠規準 | 「2007年枠組壁工法建築物 構造計算指針（2007年11月）、第V編 材料及び接合部の許容応力度等を定める試験・評価方法とその解説、（社）日本ツーバイフォー建築協会）に準じて試験を行った。   |
| 試験結果 | <p>試験許容応力の5%下限値 (Pyo) : 2.62 kN<br/>基準終局耐力 (Puo) : 3.90 kN<br/>基準剛性 (Ko) : 2.00 kN/mm</p>   |
| 試験期間 | 平成21年12月24日   |
| 担当者  | <p>試験総括監督者 並木 高<br/>試験担当責任者 中村 正芳<br/>試験担当者 濱野 裕仁</p>   |
| 試験場所 | (株)カナイ 試験所  |